

## 令和4年度 社会福祉法人岡崎市社会福祉協議会事業報告

新型コロナウイルス感染症への対策を取り続けてきた過去から、令和4年度においては、アフターコロナとして、各種事業が再開される兆しがみられる年となりました。

地域福祉活動においても、マスクの着用など感染予防対策を継続しつつも、対面によるサロン活動や見守り活動などが少しずつ再開され、地域活動の活性化につながってまいりました。

当会においても、第4次地域福祉計画の初年度として、前期計画に引き続き、地域における「ミソ端会議」を実施し、地域活動の振り返りや、地域に潜在している福祉課題について話し合う機会を設けることができました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の傷跡はいまだ消えることはなく、収入が安定せず、日々の生活に困窮している世帯からの生活相談は絶えることがありません。こうした世帯に対する支援として、当会では、令和4年9月から、「はぴりんバンク・フード&グッズ」事業を開始するとともに、ファミリーマート及び日本非常食支援機構と提携することで、食料品や生活物資の寄附を受け付けストックすることで、フードドライブ（岡崎市ではOKフードドライブ）による食料配布を始め支援が必要となる世帯へ必要な資源が提供できる環境づくりに努めてまいりました。

こうした事業のほかにも、当会においては、各種福祉分野において相談や訪問事業など様々な事業に取り組んでおります。こうした事業を継続的に進めるためにも、自主財源の確保と、人材育成は欠かせず、寄附付き自動販売機設置の依頼や職員研修なども押し進めてまいりました。

今後も、関係機関の皆様がたと連携・協力しながら地域とのつながりを深め、住み慣れた地域でこころ豊かに安全で安心して暮らせる地域社会を目指して、全職員一丸となって福祉活動の推進に取り組んでまいります。

# 令和4年度 事業報告書

第1. 新規事業および重点取り組み事業の報告

1. 重層的支援体制整備(アウトリーチ等を通じた継続的支援、参加支援事業)

コミュニティソーシャルワーカー(以下「CSW」という。)活動

岡崎市に設置された福祉総合相談窓口にて、複合課題を抱えながら必要な支援が届いていない世帯に対する支援や、本人のニーズや課題を把握し、アウトリーチ等を通じ福祉課題を抱えた方々に必要な支援が届く支援体制整備に取り組んだ。また、本人と支援メニューのマッチングや、若者サポートセンターと協働し地域福祉の学びとして「地域福祉講座」を開催。その他、岡崎市と連携しフードドライブを実施した。

(1) アウトリーチ(CSW・生活困窮・障がい)・CSW(参加支援)

単位：名

年代	10代	20代	30代	40代	50代	
人数	21	14	56	160	257	
年代	60代	70代	80代	90代	不明	合計
人数	66	12	16	2	66	670

(2) 対応方法

単位：件

来所	訪問	電話	会議	連絡調整	合計
87	52	365	21	145	670

(3) 相談分類

単位：件

高齢者	ひきこもり	若者	生活困窮	生活保護
57	220	87	100	29
障がい(精神)	障がい(知的)	障がい(身体)	障がい(疑い)	
187	56	16	10	
母子	外国人	居住支援	ごみ屋敷	その他
18	5	2	34	2

※重複あり

(4) 相談分類(複合) 件数 139件

状 態					件数
高齢者			生活困窮		10件
高齢者			生活困窮	障がい(精神)	4件
高齢者				障がい(精神)	2件
高齢者				障がい(精神) ひきこもり	2件
	若者		生活困窮	障がい(精神)	2件
	若者		生活困窮		15件
	若者			障がい(知的) ひきこもり	8件
	若者			ひきこもり	35件
	若者	母子			8件
	若者	母子	生活困窮		8件
			生活困窮	ひきこもり	1件
			生活困窮	障がい(知的) ひきこもり	1件
			生活困窮	障がい(知的)	3件
			生活困窮	障がい(精神)	38件
				障がい(精神) ひきこもり	2件

(5) 地域福祉講座の実施

身近な福祉課題を取り上げ、現状や課題を学ぶ機会として、地域福祉講座を実施した。今年度は、本来大人が担うべき家事や家族の世話などを日常的に子どもたちが行っている「ヤングケアラー」を身近な課題と捉え、その実態や経験者の思い、岡崎市の現状について知ることで、自分たちにできることを考えていただくきっかけづくりを目的に実施。

アンケートでは、実体験談を聞くことでより身近な問題としてとらえられたなど、ヤングケアラーに対する理解と関心を得ることができた。

日 時：令和4年8月27日(土) 午後1時30分～3時

場 所：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室

テーマ：「知っていますか？ヤングケアラー ～家族のケアを担う子どもの思い～」

講 師：一般社団法人 ダブルケアパートナー所属

社会福祉士 山本 恒慈 氏

経験談：ヤングケアラーとアダルトチルドレンの自助グループ和衷

代表 佐藤 由香 氏

対象者：学区福祉委員、民生委員、地域包括支援センター、

ボランティア等の地域支援者、一般住民

参加者：79名(会場22名、オンライン57名)

2. 重層的支援体制整備（フードドライブ）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響などにより、生活が厳しくなった生活困窮者への支援を岡崎市と連携し実施した。

ア. 第1回

実施主体：岡崎市社会福祉協議会

実施期間：令和4年4月～6月

支 援 先：食料支援を必要とする学生

(愛知学泉大学・短期大学／岡崎女子大学／愛知産業大学)

支援物品：防災備蓄品(クラッカー3,744缶)

イ. 第2回

実施主体：OK フードドライブ実行委員会

共 催：岡崎市・岡崎市社会福祉協議会

実 施 日：令和4年4月2日(土)

支 援 先：食料支援を必要とするかた(生活困窮者など)

配布場所：むらさき館(藤川町)

支援物品：食品・おさがり学用品等各会場100セット

ウ. 第3回

実施主体：OK フードドライブ実行委員会

共 催：岡崎市・岡崎市社会福祉協議会・額田地域包括支援センター

実 施 日：令和4年5月21日(土)

支 援 先：食料支援を必要とするかた(生活困窮者など)

配布場所：豊富学区市民ホーム(檜山町)

支援物品：食品等100セット

エ. 第4回

実施主体：OK フードドライブ実行委員会

共 催：岡崎市・岡崎市社会福祉協議会

実 施 日：令和4年5月27日(金)

支 援 先：食料支援を必要とするかた(生活困窮者など)

配布場所：オカザキ製パン(赤渋町)

- 支援物品：食品等 130 セット
- オ. 第5回  
実施主体：OK フードドライブ実行委員会  
共 催：岡崎市・岡崎市社会福祉協議会  
協 力：高年者センター岡崎地域包括支援センター  
実 施 日：令和4年6月14日(火)  
支 援 先：食料支援を必要とするかた(生活困窮者など)  
配布場所：イズモ葬祭(美合町)  
支援物品：食品等 130 セット
- カ. 第6回  
実施主体：もったいないリレー・OK フードドライブ実行委員会  
共 催：岡崎市・岡崎市社会福祉協議会  
実 施 日：令和4年7月16日(土)  
配布場所：図書館交流りぶら(康生通西)  
支 援 先：食料支援を必要とするかた(生活困窮者など)  
支援物品：食品・お米・おさがり学用品等各会場 100 セット
- キ. 第7回  
実施主体：OK フードドライブ実行委員会  
共 催：岡崎市・岡崎市社会福祉協議会  
日 時：令和4年8月4日(木)  
支 援 先：食料支援を必要とするかた(生活困窮者など)  
配布場所：カクキュー八丁味噌(八帖町)  
支援物品：食品等 100 セット
- ク. 第8回  
実施主体：OK フードドライブ実行委員会  
共 催：岡崎市・岡崎市社会福祉協議会  
協 力：細川学区福祉委員会、北部地域包括支援センター、  
非営利特定法人花音、オカザキ製パン株式会社  
実 施 日：令和4年9月9日(金)  
支 援 先：食料支援を必要とするかた(生活困窮者など)  
配布場所：細川学区市民ホーム(細川町)  
支援物品：赤ちゃん用品・食品等 150 セット
- ケ. 第9回  
実施主体：株式会社栄光会・OK フードドライブ実行委員会  
共 催：岡崎市・岡崎市社会福祉協議会  
協 力：ボーイスカウト、おかざき農遊館、オカザキ製パン株式会社  
実 施 日：令和4年10月13日(木)  
支 援 先：食料支援を必要とするかた(生活困窮者など)  
配布場所：あずま家デイサービス北部(東阿知和町)  
支援物品：食品等 100、子ども 20 セット、赤ちゃん 10 セット
- コ. 第10回  
実施主体：OK フードドライブ実行委員会  
共 催：岡崎市・岡崎市社会福祉協議会  
協 力：六ッ美学区住民、明治安田生命相互会社、有限会社小久井農場、  
オカザキ製パン株式会社  
実 施 日：令和4年11月4日(金)  
支 援 先：食料支援を必要とするかた(生活困窮者など)  
配布場所：オカザキ製パン(赤渋町)

- 支援物品：食品等 200 セット
- サ. 第 11 回  
実施主体：OK フードドライブ実行委員会  
共 催：岡崎市・岡崎市社会福祉協議会  
協 力：もったいないリレー、和衷、なのはな苑地域包括支援センター  
実 施 日：令和 4 年 11 月 27 日(土)  
支 援 先：食料支援を必要とするかた(生活困窮者など)  
配布場所：駅南中央公園(井内町・えきなんフェスタ)  
支援物品：防災備蓄品 50 セット、赤ちゃん用品 20 セット
- シ. 第 12 回  
実施主体：OK フードドライブ実行委員会  
共 催：岡崎市・岡崎市社会福祉協議会  
協 力：もったいないリレー、株式会社出雲殿、大東建託株式会社、  
明治安田生命相互会社、フタバ産業株式会社、  
オカザキ製パン株式会社  
日 時：令和 4 年 12 月 1 日(木)  
支 援 先：食料支援を必要とするかた(生活困窮者など)  
配布場所：長誉館(中町)  
支援物品：食品等 130 セット
- ス. 第 13 回  
実施主体：上地学区福祉委員会  
協 力：岡崎市・岡崎市社会福祉協議会  
実施期間：令和 4 年 12 月 18 日(日)~25 日(日)  
支 援 先：上地学区生活困窮者および住民(OK フードドライブ啓発)  
配布場所：岡崎市南部地域交流センター・よりなん(上地)  
支援物品：食品等 350 セット
- セ. 第 14 回  
実施主体：岡崎市・岡崎市社会福祉協議会・非営利活動法人花音  
実 施 日：令和 4 年 12 月 24 日(日)  
支 援 先：食料支援を必要とするかた(生活困窮者など)  
配布場所：岡崎市役所東庁舎前ロータリー(十王町) 500 袋  
豊富学区市民ホーム(檜山町) 50 袋  
花音(細川町)30 袋  
支援物品：お米 1 人あたり 5 kg
- ソ. 第 15 回  
実施主体：OK フードドライブ実行委員会  
共 催：岡崎市・岡崎市社会福祉協議会  
実 施 日：令和 5 年 1 月 9 日(月・祝)  
支 援 先：食料支援を必要とするかた(生活困窮者など)  
配布場所：ミライラーメン(伝馬通)  
支援物品：食品等 114 セット、子ども用 64 セット、赤ちゃん用 23 セット
- タ. 第 16 回  
実施主体：六ッ美北部小学校 P T A 他保護者有志・  
美容院代表および職員等・OK フードドライブ実行委員会  
共 催：岡崎市・岡崎市社会福祉協議会  
協 力：南部地域包括支援センター、オカザキ製パン株式会社  
実 施 日：令和 5 年 3 月 13 日(月)  
支 援 先：食料支援を必要とするかた(生活困窮者など)

配布場所：こども食堂まきみどう(牧御堂町)  
支援物品：食品等 100 セット、赤ちゃん用品 15 セット

チ. 第 17 回

実施主体：OK フードドライブ実行委員会  
共 催：岡崎市・岡崎市社会福祉協議会  
協 力：奥殿春祭り実行委員会、奥殿小学校、北部地域包括支援センター  
さくら地域包括支援センター、オカザキ製パン株式会社  
実 施 日：令和 5 年 3 月 25 日(土)  
支 援 先：食料支援を必要とするかた(生活困窮者など)  
配布場所：奥殿小学校(奥殿町・奥殿春祭り内)  
支援物品：食品等 300 セット

ツ. 第 18 回

実施主体：OK フードドライブ実行委員会  
共 催：岡崎市・岡崎市社会福祉協議会  
協 力：なのはな苑地域包括支援センター、民生委員児童委員、  
株式会社名古屋銀行、第一生命保険株式会社、  
オカザキ製パン株式会社  
実 施 日：令和 5 年 3 月 27 日(月)  
支 援 先：食料支援を必要とするかた(生活困窮者など)  
配布場所：南部市民センター分館(羽根西新町)  
支援物品：食品等 300 セット、赤ちゃん 20 セット

テ. 第 19 回

実施主体：ベビママフェスタ、OK フードドライブ実行委員会  
共 催：岡崎市・岡崎市社会福祉協議会  
協 力：南部地域包括支援センター  
実 施 日：令和 5 年 3 月 31 日(金)  
支 援 先：食料支援を必要とするかた(生活困窮者など)  
配布場所：地域交流センター六ッ美分館・悠紀の里(中島町)  
支援物品：食品等 300 セット、赤ちゃん用オムツ

ト. その他【個別配布】

実施期日：12 月  
支 援 先：地域包括支援センター、障がい支援事業所、ケアマネジャー、民生委  
員児童委員、スクールソーシャルワーカーを通じて個別支援が必要な  
生活困窮者  
支援物品：お米 1 世帯あたり 5 kg  
支援者数：237 名

### 3. 重層的支援体制整備事業(額田福祉総合相談窓口(「ふくまど」))

額田センター内福祉総合相談窓口で、額田地域包括支援センターと連携し、額田地域の世代や属性、相談内容に関わらず包括的に相談を受け止める「ふくまど」福祉相談窓口を運営した。重層的支援事業の伴走型支援として、アウトリーチ等を通じた継続的支援に加え、今年度より新たに付加された参加支援事業を行い、介護、障がい、子育て、生活困窮など既存の制度では対応しきれない困難なケースに対して、関係機関と協力し継続的に本人や家族等に働きかけするなどして支援をした。また、必要な支援が届いていない人へ支援を届けるため、地域との関係づくりに取り組んだ。

(1) 相談実人数 73 名

## (2) 相談内訳

対応方法	件数	相談内容	件数
窓口	119 件	介護	132 件
訪問	169 件	病気・医療	218 件
電話(受電)	324 件	障がい	526 件
電話(架電)	211 件	生活・生活困窮	1,030 件
		その他	50 件
合計	823 件	合計	1,956 件

※件数は延べ。相談内容については重複あり

## (3) 地域づくりを支援するための活動の実施

## ア. 額田福祉総合相談窓口「ふくまど」の周知活動

福祉活動の啓発の一環として季刊誌「ふくまど」を作成し、額田地区全戸へ回覧を実施すると共に、地域へのアウトリーチの際に個別に配布した。額田福祉総合相談窓口の機能紹介と、地域活動や地域福祉に関する様々な情報発信及び啓蒙に努めた。また、福祉総合相談窓口について、地域住民に対し福祉の相談窓口であることを幅広く周知するとともに、困った時にすぐに連絡できるよう、新たに「ふくまどステッカー」を作成し、額田ふるさと祭り等の地域のイベントへの出展時や地域の各種活動団体(総代会、学区福祉委員会、民生委員児童委員協議会、いきいきサロンやごまんぞく体操等)などへ配布した。

季刊誌「ふくまど」の発行	年4回、1回500部(累計2,000部)
--------------	----------------------

## イ. 地域へのアウトリーチ活動

学区福祉委員会が主催するサロン活動や地域住民による介護予防のための自主活動「ごまんぞく体操」等に参加し、顔の見える関係づくりと共に、地域共生に向けた地域づくりのための福祉啓発や地域福祉に関する情報提供を実施した。また、北部・宮崎診療所と連携し、研修医の地域研修としてミニ健康講座を実施した。額田福祉総合相談窓口では、多機関の専門職によるまるごと相談が受けられる体制としてアウトリーチ活動を中心に実施した。

福祉啓発やミニ健康講座	実施	延べ参加人数
サロン活動	17箇所 29回(延べ)	219名
ごまんぞく体操	9箇所 20回(延べ)	195名
その他(ふれあいデイサービス、 くつろぎルームたんぽぽ)	2箇所 2回(延べ)	22名
合計	29箇所 51回(延べ)	436名

## ウ. 地域協議会の開催

額田地区の人と人、人と資源が世代や分野を越えてつながることで、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく地域共生社会を目指し、額田地域全体で情報共有や意見交流をすることを目的に地域活動者、福祉・介護従事者、行政等に呼びかけ「地域協議会」を開催した。協議会では生活に困りごと等の課題を抱えた個別支援について、事例を通して学びや気づきを共有した。

また、地域の魅力を地域住民が再認識し、共生社会を実現していくため、地域づくりの視点で多様な人が関り合いながら地域を活性化してことを考えた。

協議会後のアンケートでは、高齢者のみならず、子どもなど世代を超えた地域で



の居場所づくりの必要性も共通の課題として確認することができた。

(ア) 第1回地域協議会

日 時：令和4年6月9日(木) 午後2時30分～4時  
場 所：岡崎市額田センター こもれびかん 集会室A・B  
テ ー マ：・地域で高齢になっても生き生きとした生活を送るために  
【グループワーク】

事例を通じて、各地域で出来る支援、取り組みを考える

- ・移動支援車両貸出事業について
- ・買い物支援について
- ・災害時の個別避難計画について

参 加 者：額田5学区の総代会、社会教育委員会、学区福祉委員会、  
民生委員児童委員協議会、基幹型包括支援センター、岡崎市職員

計40名

(イ) 第2回地域協議会

日 時：令和4年11月8日(火) 午後2時～3時30分  
場 所：岡崎市額田センター こもれびかん 集会室A・B  
事例紹介：千万町町棚田の活動紹介  
発 表 者：岡崎市ぬかたブランド協議会 千万町棚田部会長 荻野 保吉 氏  
講 話：中山間地域活性化に向けての取り組みについて  
講 師：岡崎市経済振興部中山間政策課  
副課長 畔柳 典生 氏、係長 河合 寿八 氏  
【グループワーク】

自分達の住む「地域の魅力や発信方法」について考える

参 加 者：額田5学区の総代会、社会教育委員会、学区福祉委員会、  
民生委員児童委員協議会、基幹型包括支援センター、岡崎市職員

計24名

そ の 他：アンケート実施

(4) 移動支援・買い物支援

令和3年度の地域協議会で把握した地域の課題となっていた、中山間地域における移動手段や買い物の不便さの解消を目指し、移動支援車両貸出事業、ふれあいデイサービスの買い物支援事業を開始した。

また、岡崎市及び愛知ダイハツ株式会社と連携し、ダイハツ製福祉車両を無償で借り受け、この車両の活用として下山学区地域づくり協議会と連携し、地域支え合い事業として車両貸出の実施に向けての調整を行った。

4. 第4次岡崎市地域福祉計画の推進

第4次岡崎市地域福祉計画期間の初年度のため、希望する学区で計画の評価・分析を行うミソ端会議を実施した。

(1) 小学校区での福祉座談会(ミソ端会議)

第4次岡崎市地域福祉計画内に掲載されている学区(地区)別計画の進捗管理を目的として、学区福祉委員会を始めとした地域住民を対象に福祉座談会を実施した。

令和4年度分の実施状況

単位：名

学区	開催日時	開催場所	参加数
羽根	令和4年12月2日(金)午前10時00分～	市民ホーム	16
井田	令和4年12月6日(火)午後2時00分～	市民ホーム	30
福岡	令和4年12月16日(金)午前10時00分～	市民ホーム	23
北野	令和4年12月17日(土)午後4時00分～	市民ホーム	24

学区	開催日時	開催場所	参加数
緑丘	令和5年 1月14日(土)午後 1時30分～	市民ホーム	21
美合	令和5年 1月14日(土)午後 2時00分～	市民ホーム	23
六ツ美北部	令和5年 1月17日(火)午後 2時00分～	市民ホーム	19
城南	令和5年 1月21日(土)午前 10時00分～	市民ホーム	20
六ツ美中部	令和5年 1月21日(火)午後 2時00分～	市民ホーム	15
六ツ美南部	令和5年 1月22日(日)午後 1時30分～	市民ホーム	19
豊富	令和5年 1月24日(火)午後 6時30分～	こもれびかん	21
竜谷	令和5年 1月25日(水)午後 1時30分～	市民ホーム	18
細川	令和5年 1月27日(金)午前 10時00分～	市民ホーム	25
常盤南	令和5年 1月27日(金)午後 6時00分～	板田町公民館	12
上地	令和5年 2月 4日(土)午後 6時00分～	よりなん	18
岡崎	令和5年 2月11日(土)午前 10時00分～	市民ホーム	40
竜美丘	令和5年 2月12日(日)午後 1時30分～	市民ホーム	20
梅園	令和5年 2月16日(木)午後 2時00分～	市民ホーム	21
矢作東	令和5年 2月16日(木)午後 7時00分～	やはぎかん	15
愛宕	令和5年 2月18日(土)午前 10時00分～	市民ホーム	17
宮崎	令和5年 2月23日(木)午後 1時30分～	市民ホーム	20
小豆坂	令和5年 2月26日(日)午後 1時30分～	市民ホーム	19

(2) 地域福祉計画事業検討部会の開催

岡崎市と協働で作成した「第4次岡崎市地域福祉計画(計画期間：令和5年度～令和9年度)」推進のため、地域における課題や現在の取組状況についてテーマを定め、事業の検討を行う事業検討部会を設置した。市内の学識経験者、関係団体、大学から委員を構成し、意見交換を図り事業の適正な運営と改善に向けた検討を行った。

ア. 第1回

日 時：令和4年8月26日(金) 午後5時～7時

会 場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室

内 容：第1回岡崎市地域福祉計画推進委員会について報告  
モデル事業の実施に向けて  
できていること・できていないことを見える化しよう  
～第4次岡崎市地域福祉計画内の取組について～

出席者：委員16名、岡崎市ふくし相談課2名、事務局4名

イ. 第2回

日 時：令和4年12月21日(水) 午後5時～7時

会 場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室

内 容：モデル事業の実施に向けた進捗報告  
計画内容を推進していくために

～どうしたらできるようになるのか考えよう～

出席者：委員16名、岡崎市ふくし相談課2名、事務局3名

### ウ. 第3回

日時：令和5年3月16日(木) 午後5時～7時

会場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室

内容：第2回地域福祉計画推進委員会の報告  
第4次岡崎市地域福祉計画の策定プロセスをふりかえる  
今までとこれから～部会員同士思いを共有しよう～

出席者：委員18名、岡崎市ふくし相談課2名、事務局4名

## 5. 組織体制の強化（人材育成、財源確保）

外部講師を招き研修を開催し、職員の資質向上に努めた。また、独自財源確保の一環として、企業と連携し寄附付き自動販売機の設置を進めた

### (1) 働き方改革職員研修

会場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室

講師：よつば労務管理事務所 社会保険労務士 永谷 律子 氏

回数	開催日	研修内容
第1回	令和4年 7月20日(水)	職場で取り組む働き方改革 ～実践編 職場の課題と 解決策について考える～
	令和4年 7月25日(月)	
	令和4年 7月27日(水)	
第2回	令和4年 11月21日(月)	職場で取り組む働き方改革 ～実践編 職場の課題と 解決策について考える～
	令和4年 11月28日(月)	
	令和4年 11月30日(水)	

### (2) 人事評価職員研修

会場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室

講師：あおいと創研株式会社 中小企業診断士 森 正樹 氏

### ア. 全体研修

第1回	令和4年 5月30日(月)	人事評価全体研修
-----	---------------	----------

### イ. 評価者研修

第1回	令和4年 5月19日(木)	人事評価管理者研修(期首面談)
第2回	令和4年 8月22日(月)	人事評価管理者研修(中間面談)
第3回	令和4年 12月 9日(金)	人事評価管理者研修(期末面談)

### (3) 情報セキュリティ研修

研修期間：9月15日(木)～10月14日(金)

研修方法：オンライン上の動画を用いた学習

### (4) 寄附付き自動販売機の設置

ダイドードリンコ株式会社と寄附付き自動販売機協定を結び、商工会議所や市内の企業等へ設置協力の呼びかけを行い、寄附付き自動販売機の設置を進めた。

設置台数：29台

## 6. はぴりんバンク・フード&グッズ事業（新規事業）

- (1) コロナ禍における貧困の拡大に伴い、食料、日用品の循環の仕組みを作り、令和4年10月1日よりはぴりんバンク（フード&グッズ）事業を開始した。また、ファミリーマート及び日本非常食支援機構と合意書締結し、事業の拡大をはかった。合意書を取り交わした企業・団体以外にも、企業、各団体、一般のかたからの寄付が寄せられ、OKフードドライブや子ども食堂、個別支援を実施しているコミュニティソーシャルワーカー(CSW)、家計改善支援事業、地域包括支援センター、障がい相談支援事業所、スクールソーシャルワーカー(SSW)、民生委員児童委員、ケアマネジャー等を通して、生活困窮者へ食料品や日用品を配布した。また、12月からは、おかざきほっと

サポートと連携し、はぴりんバンクを活用した就労準備前の居場所、社会参加の機会づくりを実施している。

(2) ファミマフードドライブとの連携

ファミマフードドライブ説明会をファミリーマートとともに、市内の地域包括支援センター、就労支援事業所、放課後デイサービスに対し開催。5事業所がファミリーマートへの支援品回収及び配布に賛同し連携体制を整えることができた。

ファミマフードドライブ実施店舗は、令和3年度の市内9店舗から、令和4年度には市内22店舗へ拡大している。

## 第2. 継続事業の報告

### 1. 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会、監査の開催状況

#### (1) 理事会開催状況

##### ア. 令和4年 第3回理事会

日時 令和4年6月15日(水) 午後2時～

場所 岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室

報告 ・評議員の選任について

・会長並びに常務理事の職務執行状況について

・令和3年度一般会計補正予算(第8号)の専決処分について

議案 ・評議員の推薦について

・賃金規程の一部改正について

・就業規則の一部改正について

・職員の育児休業等に関する規則の一部改正について

・令和3年度事業報告並びに収支決算について

・令和4年度一般会計補正予算(第1号)

・評議員会の開催について

##### イ. 令和4年 第4回理事会

日時 令和4年12月8日(木) 午前10時～

場所 岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室

報告 ・評議員の選任について

・会長並びに常務理事の職務執行状況について

・令和4年度一般会計補正予算(第2号)の専決処分について

・令和4年度一般会計補正予算(第3号)の専決処分について

議案 ・副会長の選定について

・評議員の推薦について

・賃金規程の一部改正について

・経理規程の一部改正について

##### エ. 令和5年 第1回理事会(書面決議)

日時 令和5年2月15日(水)

議案 ・評議員会の開催について

##### オ. 令和5年 第2回理事会

日時 令和5年3月23日(木) 午前10時～

場所 岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室

報告 ・評議員の選任について

・会長及び常務理事の職務執行状況について

・令和4年度一般会計補正予算(第4号)の専決処分について

議案 ・評議員の推薦について

・第三者委員の委嘱の承認について

・会長専決並びに常務理事職務権限規程の一部改正について

・事務決裁規程の一部改正について

・令和4年度一般会計補正予算(第5号)について

・令和5年度事業計画及び収支予算について

・施設の長他重要な職員の選任について

#### (2) 評議員会の開催状況

##### ア. 令和4年 第2回評議員会

日時 令和4年6月30日(木) 午後2時～

場所 岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室

報告 ・令和3年度一般会計補正予算(第8号)の専決処分について

- 議案 ・ 令和3年度事業報告並びに収支決算について
- ・ 令和4年度一般会計補正予算(第1号)

イ. 令和5年 第1回評議員会

- 日時 令和5年3月28日(火) 午後2時～
- 場所 岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室
- 報告 ・ 令和4年度一般会計補正予算(第2号)の専決処分について
- ・ 令和4年度一般会計補正予算(第3号)の専決処分について
- ・ 令和4年度一般会計補正予算(第4号)の専決処分について
- 議案 ・ 令和4年度一般会計補正予算(第5号)について
- ・ 令和5年度事業計画及び収支予算について

(3) 評議員選任・解任委員会開催状況

ア. 令和4年 第2回評議員選任・解任委員会(書面決議)

- 日時 令和4年6月21日(火) 午前9時30分～
- 場所 岡崎市社会福祉センター 1階 第2活動室B
- 議案 評議員の選任について

イ. 令和4年 第3回評議員選任・解任委員会

- 日時 令和4年12月21日(水) 午前9時30分～
- 場所 岡崎市社会福祉センター 1階 第2活動室B
- 議案 ・ 評議員の選任について

ウ. 令和5年 第1回評議員選任・解任委員会

- 日時 令和5年3月23日(木) 午後2時～
- 場所 岡崎市社会福祉センター 1階 第2活動室B
- 議案 ・ 評議員の選任について

(4) 監査の開催状況

- 日時 令和4年6月3日(金) 午後2時～
- 場所 岡崎市社会福祉センター 1階 第1活動室
- 内容 ・ 令和3年度事業報告について
- ・ 令和3年度一般会計決算について
- ・ 令和4年3月31日現在の財産目録及び貸借対照表について

2. 他市町村社協との連携強化、広報活動

他市町村社協との連携を深めるため西三河ブロック社会福祉協議会事務局長・担当者会議及び総務担当者会議の書面による議題回答に協力した。

(1) 機関紙の作成領布

「おかぎきの社協」を年2回発行し、全世帯へ配布した。社協のマスコットキャラクター「はぴりん」を有効活用し、見やすい紙面づくりを心掛けて作成した。

発行月	発行部数
令和4年9月号	157,000部
令和5年3月号	154,900部

(2) ホームページ・SNSによる情報提供

イベント情報や、サービス内容の発信を行うとともに、Facebook、Twitterを活用した各種情報の提供を行った。

また、ホームページについては、令和5年4月に向けてリニューアル作業を行い、見やすさと親しみやすさを重視した新たなホームページを作成した。

(3) マスコットキャラクターを利用した広報活動

社協マスコットキャラクター「はぴりん」の着ぐるみを使用し、市内で行われるイベント参加による社協事業の啓発や、岡崎市社会福祉協議会応援団に就任したオカザえもん及びオカザえもん Jr と協力し当会事業の啓発活動を行った。

### 3. 学区福祉委員会

#### (1) 活動支援

小地域福祉活動の要となる組織として、市内 46 学区(一部中学校区)に学区福祉委員会が設立された。学区福祉委員会活動におけるさまざまな悩みや課題に対し、支援等を行った。

#### (2) 学区福祉委員会の主な活動内容

##### ア. 高齢者等見守り激励訪問活動

ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯等に対する安否確認と見守り活動

##### イ. 高齢者や世代間交流による会食会の開催

会食会を通し、地域で世代を超えた交流や閉じこもり防止のための外出を支援  
※コロナ禍ではあるが、感染症対策をしながら再開する学区もあり。

##### ウ. 広報紙「福祉委員会だより」の発行・ホームページや SNS の作成及び更新

地域住民に広く学区福祉委員会への周知と、地域福祉活動への理解と福祉委員会への参加を呼びかける

##### エ. ふれあいサロン、いきいきクラブ、健康教室などの開催

社会的孤立感の解消を目的とした居場所づくり、介護予防や介護のノウハウを学ぶ機会づくり

##### オ. 子育てサロンや登下校時の見守り活動

子育て中の親子が集える機会や場所の提供、子どもの成長と安全を見守る支援

##### カ. 各種研修や講座の企画・開催

活動をする中で必要な知識や情報を習得する研修会や講座の開催。先進的な取り組みをしている市内・市外の活動を視察

#### (3) 学区福祉委員会への活動支援と地域担当者との情報共有

##### ア. 学区福祉委員会定期総会・役員会などへの出席(役員会などは随時出席)

##### イ. 学区福祉委員会への講演、研修指導など。学区からの要望に応じて実施 (六ツ美南部・河合・六ツ美中部・竜谷・岩津・竜美丘・連尺・本宿・竜美丘白鳥サロン)

#### (4) 学区福祉委員会連絡協議会

学区福祉委員会相互の連絡調整や情報の共有化を図り、学区の福祉活動を推進することを目的とし実施した。

##### ア. 役員会

第1回 日 時：令和4年6月1日(木) 午後1時30分～  
会 場：岡崎市社会福祉センター 1階 第3活動室  
議 題：総会に諮る議案の確認

第2回 日 時：令和5年2月14日(火) 午後1時30分～  
会 場：岡崎市社会福祉センター 1階 第3活動室  
議 題：連絡会議の議題と資料の確認について

##### イ. 総会

日 時：令和4年6月14日(火) 午後1時30分～  
会 場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室  
議 案：事業報告、新役員選任、事業計画等

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンライン参加を可能とした。

##### ウ. 連絡会議

日 時：令和5年3月3日(金) 午後1時30分～3時  
会 場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室  
議 題：補助金実績報告、補助金交付申請、次年度事業予定等

##### エ. 語ろう会(学区福祉委員会連絡協議会主催) >

(ア) 事前打合せ(担当役員)

- 1回目：令和4年7月13日(水) 午前10時～  
岡崎市社会福祉センター 1階 第3活動室
- 2回目：令和4年8月18日(木) 午後2時～  
岡崎市社会福祉センター 1階 第1活動室
- 3回目：令和4年9月7日(水) 午後2時～  
岡崎市社会福祉センター 1階 多目的室A

(イ) 開催内容

1回目	<p>～広報研修活動の担当者あつまろまい～ 開催日：令和4年9月30日(金) 午後1時30分～3時30分 会場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室 テーマ：紙でも SNS でも何をどう伝えているのか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例発表 小豆坂学区 広報・研修部会 岩田 三男 氏 矢作西学区 広報研修部 金山 文雄 氏</li> <li>・情報交換会</li> </ul> <p>担当役員：平松副会長、中山幹事、神谷幹事</p>
2回目	<p>～ふれあい活動の担当者あつまろまい～ 開催日：令和4年10月28日(金) 午後1時30分～3時30分 会場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室 テーマ：サロンには誰が来てる？どう誘ってる？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例発表 竜谷学区 委員長 長坂 正行 氏 根石学区 事務局長 宮田 大治郎 氏</li> <li>・情報交換会</li> </ul> <p>担当役員：長坂会長、天野副会長、飯塚幹事</p>
3回目	<p>～訪問・見守り活動の担当者あつまろまい～ 開催日：令和4年11月25日(金) 午後1時30分～3時30分 会場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室 テーマ：見守り活動の対象者とは？！ ～対象者の範囲について考えよう～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例発表 矢作北学区 在宅福祉推進部 岡本 竹史 氏 本宿学区 委員長 平松 健二 氏</li> <li>・情報交換会</li> </ul> <p>担当役員：梅田副会長、鈴木事務局長、畔柳幹事</p>

(5) 学区福祉委員会向け講座の実施

学区福祉委員会、各部会に向けての講座や研修会を開催した。

ア. 委員長研修会

委員長が共通で学ぶことができる地域福祉、学区福祉委員会の在り方、補助金の使い方、また委員長同士の交流を目的とする。

日時：令和4年7月14日(金) 午後3時～5時

会場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室

講師：日本福祉大学 社会福祉学部長 野尻 紀恵 氏

岡崎市社会福祉協議会 総務課事業係 主任 本 景子

テーマ：どうするだん福祉～自分のまちのために一步踏み出そう～  
社会福祉協議会と学区福祉委員会のつながり

対象者：各学区福祉委員会委員長

参加数：40名



- イ. 広報研修部会向け研修会「見やすい 読みやすい 広報誌の作り方」  
読みたくなる広報誌の書き方や、チラシの作成技術を学び、ノウハウを習得。地域での活動に活かされることを目的に開催した。

日 時：令和4年8月24日(水) 午後1時30分～

会 場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室

講 師：岡崎ビジネスサポートセンター

ビジネスコーディネーター/コピーライター 松田 広宣 氏

対象者：学区福祉委員会(広報研修部会)

- ウ. 在宅福祉部向け研修会『自然に打ち解けられるコミュニケーションを学ぼう！』  
初対面の相手の場合の心理状況やコミュニケーションのとり方など信頼関係について学び、変化を見つけるポイントなどから学区の見守り活動に活かされることを目的に開催した。

会 場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室

対象者：学区福祉委員会(在宅福祉部会、見守り活動担当者)

講 師：愛知大学 文学部心理学科 教授 鎌倉 利光 氏

1日目	開催日：令和4年10月1日(土) 午後1時30分～3時30分 テーマ：信頼関係を築くコミュニケーション ～初対面の人との接し方～ 参加数：23名
2日目	開催日：令和4年10月8日(土) 午後1時30分～3時30分 テーマ：見守り活動で気付く変化 ～見守り活動をする中でのポイント～ 参加数：24名

- エ. ふれあい部会向け研修会『地域でのサロン活動を楽しく継続しよう！～活動の効果を学び、五感を活かした回想法のポイントを体験しよう～』  
地域の居場所であるサロンにはどのような効果があるのかを改めて学び、回想法を取り入れたレクリエーションなどから今後も楽しくサロンを継続していただくことを目的に開催した。

会 場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室

講 師：同朋大学 社会福祉学部 准教授 牛田 篤 氏

1日目	開催日：令和4年12月15日(金) 午後1時30分～3時30分 テーマ：全国的にみる、高齢者分野の取り組みを知ろう！ ～そこから見える地域でできる支えあいとは～ 参加数：20名
2日目	開催日：令和4年12月22日(金) 午後1時30分～3時30分 テーマ：地域のサロンで何ができるか考えよう ～地域の魅力、文化の伝承、世代間交流、 地域づくりを楽しもう！～ 参加数：18名

- オ. 地域福祉リーダー養成塾

学区福祉委員会やボランティア団体が果たす地域での役割、リーダーシップを發揮するために必要な要素としての意識付けや組織運営に必要なコミュニケーション能力、などを学び、各団体を活性化するリーダー的な役割を担う人材を養成するため「住みよい地域のために一歩踏み出そう！！」をテーマに名古屋市緑区森の里荘への校外学習を含む6日間過程で開催した。また、選択科目を設定し、カリキュラムの幅を広げた。

新型コロナウイルス感染症予防のため受講者を20名に限定し17名が修了した。

1日目	開催日：令和4年10月15日(土) 午前10時～12時 会場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室 テーマ：地域共生社会の実現に向けた地域コミュニティーづくり 講師：合同会社 P-BEANNS ソーシャルデザイン事業 マネージャー 栗本 浩一 氏
2日目	開催日：令和4年10月29日(土) 午後2時～4時 会場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室 テーマ：信頼関係を構築するための コミュニケーションスキルを学ぼう！ 講師：株式会社 Lif 代表取締役 社会保険労務士 田中 亜矢子 氏
3日目	開催日：令和4年11月5日(土) 午後2時～4時 会場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室 テーマ：リーダーシップを発揮して、地域活動に仲間を巻き込むスキルを学ぼう 講師：株式会社 Lif 代表取締役 社会保険労務士 田中 亜矢子 氏
4日目	開催日：令和4年11月12日(土) 午前10時～12時 会場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室 テーマ：多文化に触れ、共生を考える ～地域で一緒に暮していくために～ 講師：岡崎市社会文化部 多様性社会推進課 太田義男 氏 一般社団法人 ViVarsity 森下 裕介 氏
5日目	開催日：令和4年11月19日(土) 会場：森の里荘自治会(名古屋市緑区) テーマ：校外学習「森の里荘自治会の取り組みを知り、自団体での取り組みを考えよう 講師：森の里荘自治会 会長 小池田 忠 氏
6日目	開催日：令和4年11月26日(土) 会場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室 テーマ：5日間のふりかえり、 自団体での取り組みに活かしていこう！

(6) 学区福祉委員会へ広報紙の発信

学区福祉委員会へ年3回の広報紙「福祉かわら版」を発信し周知した。

第29号 発行日：令和4年6月 総会にて配布

第30号 発行日：令和4年11月 語ろう会で配布できなかった学区は郵送

第31号 発行日：令和5年3月 連絡会議にて配布

(7) 学区福祉委員会補助金「会計確認」の実施

市の補助金並びに共同募金配分金が適正に処理されているか、また運営上有効に使われているかを確認するため、46学区福祉委員会すべてにおいて「会計確認」を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により9支所管内ごとに日程や会場を設定し会計確認を実施した。

#### 4. 子ども食堂支援事業

##### (1) 子ども食堂支援事業

令和4年度においては、新たに市内9箇所において子ども食堂が立ち上がった。子ども食堂新設に向けての相談や立ち上げから運営に向けてのサポートを行い、継続的な子ども食堂運営の支援を行った。また既存の子ども食堂においても、運営者の日々の相談や企業からの食糧支援物資の橋渡しなど多岐に渡るサポートを行った。

また、今年度は子ども食堂運営者同士の交流や意見交換の場をもうけ、運営側の日頃の悩みや工夫などを共有する機会を設けた。今年度は23か所が運営している。

市内子ども食堂開催数

単位：回

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
54	166	177	150	184	198	195
11月	12月	1月	2月	3月	合計	
207	222	177	185	181	2,096	

(2) 市内子ども食堂数 23箇所（令和5年3月31日現在）

(3) 新規に立ち上がった子ども食堂 市内9箇所（上記に含む）

(4) 市民向け講座

日 時：令和4年11月12日(土) 午後2時～4時

会 場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室

講 師：日本福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科 准教授 中村 強士 氏

事例発表：とまと食堂(東海市) 代表 深谷 美子 氏

テ ー マ：子ども食堂市民向け講座「食 de つながる “子ども食堂”」

～わたしたちに、できること～

参 加 者：参加者28名(会場23名・オンライン5名)

(5) 子ども食堂交流会

日 時：令和5年3月8日(水) 午後2時～4時

会 場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室

テ ー マ：岡崎市子ども食堂交流会

説 明 者：岡崎市ふくし相談課 課長 齊藤 哲也 氏

岡崎市社会福祉協議会 総務課 事業係 草次 君子 係長

おかざき子ども食堂・

みんなの食堂連絡協議会わークル 三輪 晴美 氏

参 加 者：17名

#### 5. ボランティア事業

ボランティア活動への関心を高め、参加しやすい環境づくりを目的に、福祉体験活動や、各種ボランティア講座などの福祉事業を実施した。

(1) 市民啓発事業

ア. 第38回ふれあい岡崎福祉まつり

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により中止

イ. 岡崎市災害ボランティア支援センター設置・運営訓練

※台風接近により中止

期日・期間：令和4年9月19日(月・祝) 午前9時～午後4時

会 場：岡崎中央総合公園弓道場・アーチェリー場

ウ. 下山学区福祉防災講座

期日・期間：令和4年11月6日(日)

会 場：下山小学校

内 容：防災講話、防災寸劇、ワークショップなど各種プログラムを通して、参加者の日頃からの防災に対する心構えと意識の向上を目指した。

- 参加者：21名
- エ. 福祉関係紹介情報誌「ふれあいのまち岡崎」の発行  
配布先：市内各市民センター、市政情報コーナーなど  
部数：1,500冊
- オ. ボランティアセンター情報誌「neco」の発行  
配布先：ボランティア活動希望者、市内の大学、地域交流センターなど  
部数：隔月909部(累計5,454部)
- カ. ボランティア紹介ビデオや福祉ビデオ、DVD、図書、活動機材などの随時貸出
- キ. ホームページ、ブログ、Facebook、Twitterの更新、LINEなどSNSを活用した情報提供
- ク. 企業の社会貢献(CSR)事業への協力・支援  
相談企業数：3件  
出張講座実施数：26件  
高齢者サロン送迎実施回数：0件
- ケ. 市内公的施設でのボランティア相談会  
市民センター4箇所において、福祉ボランティアに関する相談やボランティア保険の手続きに関する機会として出張相談を実施した。  
実施日：令和5年3月22日(水)、23日(木)  
出張職員数：計2名  
相談者数：計1名
- (2) 養成・研修会事業
- ア. ボランティア講座
- (ア) 災害ボランティアコーディネーター養成講座(全3回)  
期日・期間：令和4年7月31日(日)・8月7日(日)  
会場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室  
参加者：38名
- (イ) 災害ボランティアコーディネーターフォローアップ講座  
期日・期間：令和5年3月4日(土)  
会場：岡崎市社会福祉センター 1階 第1活動室、オンライン  
参加者：38名
- (ウ) 在宅における傾聴ボランティア養成講座  
期日・期間：令和4年8月27日(土) 午後2時～5時  
会場：岡崎市社会福祉センター 1階 第1活動室  
参加者：13名
- (エ) ボランティアセンター登録団体会員向けボランティアフォローアップ研修  
期日・期間：令和4年7月27日(土)、9月25日(日)、11月4日(金)  
令和5年1月21日(土)  
会場：岡崎市社会福祉センター 1階 第2活動室、オンライン  
参加者：計45名
- (オ) 学生ボランティア養成講座  
期日・期間：令和5年3月19日(日) 午後2時～4時30分  
会場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室  
参加者：48名
- イ. 支援員養成講座
- (ア) 手話奉仕員養成講座(全40回)  
期日・期間：令和4年4月14日(木)～令和5年2月23日(木)  
会場：岡崎市社会福祉センター 1階 第3活動室  
修了者：20名

(イ) 手話通訳者養成講座Ⅱ(全 40 回)

期日・期間：令和4年4月12日(火)～令和4年11月29日(火)

会 場：岡崎市社会福祉センター 1階 第2活動室

修了者：4名

(3) ボランティアセンターの運営

ボランティア相談やボランティアコーディネートの充実のため、専任の職員をボランティアセンターに配置し、個人並びに団体、施設等からの依頼に応えるとともに、毎月1回のコーディネーター会議と随時ミーティングを実施し、情報の共有と課題の改善、今後の対応について話し合いを行った。また、コーディネーターがボランティア依頼元に出向き、意見や要望を聞くことで日頃のコーディネート業務やボランティア団体との対応に活かすことができた。

ア. ボランティアセンター来訪者数：2,351名

イ. ボランティアセンター運営委員会

(ア) 期 日：令和4年8月4日(木)

会 場：岡崎市社会福祉センター 1階 第1活動室

内 容：・ボランティアセンター運営委員会正副委員長選出  
・令和3年度ボランティアセンター事業報告  
・第4次ボランティアセンター推進計画について

参加者：運営委員14名、事務局6名

(イ) 期 日：令和4年12月22日(木)

会 場：岡崎市社会福祉センター 1階 第1活動室

内 容：第4次ボランティアセンター推進計画策定について

参加者：運営委員13名、事務局7名

(ウ) 期 日：令和5年3月17日(金)

会 場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室B

内 容：・第4次ボランティアセンター推進計画について  
・学生ボランティア養成講座について  
・令和5年度ボランティアセンター事業計画について

参加者：運営委員11名、事務局7名

ウ. 専門委員会(第4次ボランティアセンター推進計画)

(ア) 期 日：令和4年9月29日(木)

会 場：岡崎市社会福祉センター 1階 第2活動室

(イ) 期 日：令和5年2月9日(木)

会 場：岡崎市社会福祉センター 1階 第2活動室

エ. ボランティア登録状況

項目	サークル数	人数
団体	72 団体	1,930 名
個人	—	40 名
計	72 団体	1,970 名

オ. ボランティアコーディネーター状況

依頼元	依頼件数	延派遣・紹介数
高齢者施設	20 件	6 件
児童福祉施設	1 件	1 件
病院・保健所	0 件	0 件
学校・地域・企業	26 件	17 件
障がい者施設	0 件	0 件
福祉団体・サークル	3 件	4 件
社協・行政	6 件	9 件
個人	18 件	14 件
その他	0 件	0 件
合計	74 件	51 件

カ. ボランティア活動希望者状況

相談受付：476 件(ボランティア養成講座申込者など含む)

コーディネーター：198 件

キ. 「福祉施設向けボランティア受け入れのポイント」リーフレットの配布

配布先：ボランティアセンターに依頼のある施設ほか

ク. 第4次ボランティアセンター推進計画の策定

第3次ボランティアセンター推進計画の計画期間満了につき、次期計画として第4次ボランティアセンター推進計画(5か年計画)を策定した。

(4) 福祉教育関係事業

児童・生徒のボランティア活動への参加促進や、福祉への理解者の底辺を広げることがを目的に、福祉教育推進事業として福祉教育推進校を指定し、福祉実践教室や福祉教育プログラムなどを通し、福祉の現状や活動の心構えなどを学ぶ機会づくりに努めた。

ア. 福祉教育推進校

補助金 上限 30,000 円(旧額田町指定校からは市からの補助)

指定期間 単年度とし継続する

指定校 学校数 小学校 46 校  
 中学校 16 校  
 高等学校 7 校  
 支援学校など 5 校(※1)  
 計 74 校

※1：岡崎盲学校・岡崎聾学校・岡崎特別支援学校・愛知教育大学附属特別支援学校・愛知県立みあい特別支援学校)

イ. 担当者会議

開催日：令和4年5月6日(金) 午後4時～5時

会場：オンラインにて実施

ウ. 福祉実践教室の実施学校

実施校 市内小・中・高等学校 18 校で 33 日実施(複数回開催校含む)

エ. 福祉教育プログラムの実施学校

実施校 市内小・中・高等学校 7 校で 67 日実施(複数回開催校含む)

オ. 福祉実践教室教員向け研修会

期日・期間：令和4年8月2日(火)・5日(金)

会場：岡崎市社会福祉センター 1階 第3活動室

内容：児童・生徒の福祉学習がより効果的に行われるように、児童・生徒の福祉実践教室で行われている科目を教員に受講してもらい、学校で行われている福祉教育に関して指導者としての基礎知識と留意点などを学んだ。

開催日		内容	参加者数
令和4年 8月2日(火)	午前	発達障がい・いじめ防止	10名
	午後	体験視覚障がいに関すること (点字・視覚障がいガイド・盲導犬)	4名
令和4年 8月5日(金)	午前	高齢者疑似体験・車いす・ふくし	4名
	午後	聴覚障がいに関すること (要約筆記・手話)	5名

カ. 福祉実践教室副読本「ぼく・わたしにできること」の作成・配付

福祉実践教室の充実のため、福祉実践教室の講師団体の協力のもと、岡崎市オリジナルの副読本を製作し、実践教室に取り組む児童へ無料配付した。

キ. 福祉実践教室講師団体連絡会議

期日：令和5年3月16日(木) 午後2時～4時

会場：岡崎市社会福祉センター 1階 第2活動室

内容：福祉実践教室・福祉教育プログラム実施状況の報告、講師団体からのアンケート結果の報告及び令和5年度福祉教育関連事業などの説明をした。

(5) 災害ボランティア

ク. 災害ボランティア支援センター協定締結団体会議

期日・期間：令和5年2月17日(金) 午後3時～4時

会場：岡崎市社会福祉センター 1階 第1活動室、オンライン

内容：協定締結団体間の情報交換、災害ボランティア支援センター開設・運営などを協議した。

ケ. 登録災害ボランティアコーディネーター用公式 LINE アカウント及び Google フォームの運用

内容：岡崎市災害ボランティア支援センターの機能を円滑にするため、公式 LINE アカウントと Google フォームを運用し、訓練を実施した。

(6) 家庭体験事業

児童養護施設岡崎平和学園及び米山寮の児童が心身ともに健やかな成長をするための一助として、一般家庭における生活体験の機会と共に、施設と地域との連携強化を進めた。

## 6. 共同募金

### (1) 実績

区分	実績額(円)	主な使途内容
赤い羽根募金 (一般募金)	25,194,146	学区福祉委員会への活動費、事業費 障がい児(者)団体・施設などへの補助金 保育園卒園児に卒園記念品を支給 敬老会行事への助成費 児童福祉団体・施設などへの補助金 私立保育園・幼稚園への助成費
歳末 たすけあい募金	12,484,035	就学援助対象児童・生徒へQUOカード配付 地域福祉活動への支援
合計	37,678,181	

### (2) 種別実績 単位：円

区 分 募金種別	募金実績額			参考
	赤い羽根	歳末たすけあい	募金合計	前年比較
戸別募金	18,103,241	12,068,814	30,172,055	△746,121
街頭募金	221,709	0	221,709	164,344
法人募金	3,096,267	0	3,096,267	△166,375
学校募金	1,831,412	0	1,831,412	△347,463
職域募金	1,242,068	0	1,242,068	247,542
個人募金	19,230	12,522	31,752	△90,942
その他の募金	680,219	402,699	1,082,918	303,107
合計	25,194,146	12,484,035	37,678,181	△632,908

### (3) 取組内容

区分	内容
戸別募金	市民向けチラシ(町内回覧)による啓発
街頭募金	123名により市内14箇所で開催
法人募金	民生委員児童委員の協力により市内企業へ訪問依頼 981件協力
学校募金	市内の小・中・高・大学・短大・専門学校へ依頼
職域募金	企業内組織、組合などへ依頼
個人募金	4件
その他の募金	募金箱163箇所設置(市内スギ薬局及びドミー各店舗ほか)

### (4) 令和4年度第74回赤い羽根協賛児童・生徒作品コンクール

#### ア. 表彰式

赤い羽根協賛児童・生徒作品コンクールにおいて優秀な成績を収められた小・中学校の児童・生徒に対して新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により規模を縮小して表彰式を実施した。

日 時：令和4年12月8日(木) 午後4時30分～5時

会 場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室

表彰者：愛知県共同募金会 愛知県金賞 2名(書道の部)



岡崎市共同募金委員会  
 銀賞 1名(書道の部)  
 金賞 7名(書道の部)  
 金賞 10名(ポスター部)

イ. 優秀作品展示

市内・小中学校から推薦された児童・生徒の作品展示を実施した。

期間：令和4年11月23日(水)～11月27日(日) 会場：岡崎市美術館 第4展示室 展示：474点(書道314点、ポスター160点) 各小・中学校から推薦された全作品を展示
期間：令和5年1月14日(土)～1月24日(火) 会場：エルエルタウン 2階 特設会場 展示：30点(書道20点、ポスター10点) エルエルタウンの近隣小・中学校から推薦された作品を展示
期間：令和5年1月21日(土)～2月5日(日) 会場：ウイングタウン 2階 西松屋前 展示：51点(書道37点、ポスター14点) ウイングタウンの近隣小・中学校から推薦された作品を展示
期間：令和5年1月26日(木)～2月14日(火) 会場：エルエルタウン 2階 特設会場 展示：43点(書道20点、ポスター23点) エルエルタウンの近隣小・中学校から推薦された作品を展示
期間：令和5年3月4日(土)～3月21日(火) 会場：岡崎市北部地域交流センターなごみん 3階展示スペース 展示：115点(書道72点、ポスター43点) なごみんの近隣小・中学校から推薦された作品を展示

- (5) 赤い羽根フェスタ～じぶんの町を良くする集い～  
 赤い羽根共同募金運動への理解の促進、募金の使いみちの透明化を図ることを目的に、共同募金に関する事業である。  
 日時：令和5年1月28日(土)  
 会場：岡崎市せきれいホール  
 内容：岡崎市福祉ハッピーリンク活動助成事業公開プレゼンテーション審査、福祉講演会、授産製品の販売等
- (6) 令和5年度助成 岡崎市福祉ハッピーリンク活動助成事業  
 赤い羽根共同募金配分事業の一環として、市内で取り込まれる先駆的で優先度が高いと思われる福祉活動に対し助成をする事業であり、共同募金の配分先の透明化を図るため、この事業に申請する団体の審査をするにあたり、公開プレゼンテーションを実施した。助成が決定した団体には、令和5年度に助成金を交付する。  
 募集期間：令和4年8月5日(金)～令和4年10月14日(金)  
 対象団体：市内で活動する非営利の団体(ボランティアグループ、NPO法人、福祉団体、小・中学校、高等学校、短期大学、専修学校、大学)  
 対象事業：地域福祉の推進の視点から地域住民を対象に、住民の福祉の向上に資する事業で、令和5年4月1日から令和6年3月31日までに実施する事業  
 第1次審査：書類審査(令和4年11月8日(火))  
 第2次審査：公開プレゼンテーション  
 (令和5年1月28日(土) 岡崎市せきれいホール)

第3次審査 : 助成額の査定・結果発表  
 (令和5年1月28日(土) 岡崎市せきれいホール)  
 申請団体 : 3団体  
 助成決定団体 : 2団体(ガーベラ文庫、守ろう子どもと赤ちゃん)  
 助成総額 : 500,000円

## 7. 法外援護事業

この事業には、共同募金配分金及び歳末たすけあい募金を用いて実施した。

- (1) 低所得者援護
  - ア. 就学援助対象者などへのQUOカード配付 (5,868,000円)
  - イ. 生活保護・準援護世帯の小・中学校児童生徒に修学旅行援助金を支給 (956,000円)
- (2) 児童福祉
  - ア. 保育園卒園児に対する卒園記念品の支給 (鉛筆セット:1,667名)
  - イ. 児童福祉関係の各種団体に対する活動助成 (98,000円)
  - ウ. 保育園連絡協議会・保育園父母の会に対する活動助成 (756,000円)
- (3) 障がい児(者)福祉
 

身体障がい児(者)、知的障がい児(者)等団体への活動助成 (689,944円)
- (4) 高齢者福祉
  - ア. 学区敬老会行事に助成 (6,129,280円)
  - イ. 老人クラブ連合会に対する活動助成 (450,000円)
- (5) 地域福祉
  - ア. 民生委員児童委員連絡協議会への活動助成 (1,079,000円)
  - イ. 学区福祉委員会への活動助成 (7,133,830円)
  - ウ. 地域活動に対する活動助成 (390,000円)
- (6) その他の援助
  - ア. 戦没者慰霊行事への活動助成 (230,000円)
  - イ. 保護司会・更生保護女性会・ボランティア団体への活動助成 (283,000円)
  - ウ. 民間保育園・民間幼稚園に対する設備助成 (939,700円)
  - エ. 福祉施設運営助成 (462,000円)

## 8. 若者サポートセンター(令和4年9月末まで)

おおむね15歳から39歳までの若者で、何らかの理由により社会活動・参加が困難になった方々に対して、専門職相談および専門家による相談や回復に向けた支援を行っている関係機関との橋渡しを行った。

困難を抱える若者の課題を解決するための関係機関の実態把握や各機関の情報整理を行い、関係機関同士の連携による支援の構築を実施した。

- (1) 専門職相談窓口の開設
 

令和4年度においては、前年度より専門相談日を増やし、月約6回、1日の相談可能数約4枠、計127回実施。予約が半月以上先にならない配慮を行った。
- (2) 定期会議の開催
 

岡崎市教育委員会社会教育課、スクールソーシャルワーカー等と若者の実情の共有、情報交換を実施。
- (3) 啓発活動等
 

地域福祉講座「知っていますか?ヤングケアラー」をCSWと合同開催。  
 79名参加(会場22名、オンライン57名)  
 その他、ホームページ、相談日の広報、チラシの設置以外に岡崎市立看護専門学校

教務担当者、岡崎保護区保護司会、岡崎市保健所職員への案内、フリースクールアサ  
ンテ就労サポートセンター、スマイル会(親の会)チラシ配布

(4) 若者サポート相談者数

相談者数	相談件数
153名	340件

(5) 新規相談者内訳(46名)

ア. 年代別相談者数(対象年代 ※内男性38名、女性7名、その他1名)

10代後半	20代	30代	40代	不明
10名	24名	10名	1名	1名

イ. 対象者内訳

本人	親族	知人	その他機関
18名	24名	0名	4名

ウ. 対象者状況

健常者	自宅のみで生活			限定した範囲で生活		
	1年未満	3年未満	3年以上	1年未満	3年未満	3年以上
37名	2名	0名	0名	0名	0名	7名

エ. 相談分類

就学・不登校	就労	ひきこもり	家庭環境
10名	34名	8名	8名
暴力・DV	LGBT	依存症	ヤングケアラー
2名	1名	2名	0名

※重複相談含む

9. 家計相談支援(生活困窮者自立支援事業)

生活困窮者自立支援事業の利用者のうち、家計収支の均等が取れていないなど金銭管理に課題を抱えている世帯に対し、相談者とともに自身の家計収支についての課題を把握し、家計の再生に向けた具体的な方針を立て、相談者自ら家計管理ができるように支援を実施した。

相談数	家計プラン	方法			内容		
		面談	電話	訪問	困窮	家計	貸付
394件	10件	247件	128件	19件	137件	162件	114件

※内容については、重複相談あり

10. 岡崎市手話通訳者等及び要約筆記者等派遣事業

(1) 手話通訳者実績(括弧内は愛知県聴覚障害者協会派遣人数)

項目	件数	項目	件数
病院・健康	366件	市・事業団	146件
就労関係	9件	地域・ボラ	5件
団体活動	30件	公的・銀行	3件
学校・教育	187件	その他	84件
住宅関係	7件	※キャンセル59件は表中に含まず	
派遣件数	837件		
派遣人数	923(190)名		

(2) 要約筆記者等実績(括弧内はパソコン要約筆記者派遣件数)

項目	件数	項目	件数
病院・健康	4件	市・事業団	37件
就労関係	0件	地域・ボラ	0件
団体活動	2件	公的・銀行	0件
学校・教育	0件	その他	2件
住宅関係	0件	※キャンセル3件は表中に含まず	
派遣件数	45(3)件		
派遣人数	84名		

11. 声の広報事業

市内在住の目の不自由なかたを対象に「市政だより」「市議会だより」を音訳・点訳し、CD・点字を届けた。

(1) 市政だより(毎月1日号)

※広報あいち 年6回偶数月に発行 市政だよりと一緒に送付

(2) 市議会だより(5月、8月、11月、12月、2月)

(3) 選挙公報

令和4年7月10日 参議院議員選挙

令和5年2月5日 愛知県知事選挙

区分	市政だより	市議会だより	選挙広報
協力ボランティア	108名	15名	15名
利用者	360名	241名	69名

12. おもちゃ図書館事業

心身障がい児とその家族などに、おもちゃと遊び場を提供し、同年齢の子ども達と遊ぶ機会が少ない児童にこの事業を通して同世代との遊びによる社会性の発展及び情緒性の成長を促すことを目的に事業を実施した。

会 場：遊びと学びの教室きらキッズ

開催日：月1回(第2土曜日 午前9時30分～12時30分)

実 績

項目	開催数	子ども	大人	合計
おもちゃ図書館	11回	92名	79名	171名
料理コース	3回	33名	8名	41名
クリスマス会	1回	38名	26名	64名
スタッフ・ボランティア				172名

※スタッフ、ボランティアは各事業の事前準備の従事者数も含む

13. 子育てサロン「ひだまりKids」

子育て中の母親の孤立の防止、育児に対する不安やストレスの軽減を図ることを目的に、豊富と形埜の2箇所で開催、協力した。

会場	参加者
岡崎市額田センターこもれびかん	延102組/226名
形埜学区市民ホーム	延104組/241名
合計	延206組/467名

14. 介護者リフレッシュ事業「くつろぎルームたんぽぽ」

在宅において介護をされている介護者を対象に介護者同士の情報交換、介護者の悩みや健康相談が気軽にできる機会を提供し、介護者の支援を目的に年10回実施した。

15. 各種貸出事業

(1) 福祉車両貸出事業

日常的な外出時に車いすを利用する高齢者及び身体障がい者(児)が、体力の維持向上や社会的見聞を広めるための支援並びに社会参加を促進することを目的に貸出をしている。

区分		本部	額田支所	合計
利用件数	車いすりフトカー	98名	40名	138名
利用目的	病院・福祉施設などへの送迎	76名	39名	115名
	地域の行事・会議などの参加	0名	0名	0名
	慶弔時	2名	0名	2名
	その他	20名	1名	21名

※本部は岡崎市社会福祉センターを指す

(2) 車いす貸出し事業

介護保険サービスで車いすを借りることができない高齢者、介護保険を使っていないかた、短期の使用(旅行など)やケガなどで車いすが必要なかた、介護保険認定申請中のかたなどに対して貸出を行った。

事業所	件数
岡崎市社会福祉センター	167件
額田支所	29件
合計	196件

(3) 額田支所移動支援車両貸出事業

移動支援車両の利用は、額田地域に在住する高齢者、子ども、障がい者、低所得者などの交通弱者であって日常的に移動が困難な者などが、体力の維持向上や社会的見聞などを広めるための支援並びに社会参加を促進することを目的に使用するものとする。

利用件数	17件
利用人数	46名

(4) 福祉機器リサイクル事業

不要になった福祉機器の有効利用を目的に、「譲りたいかた」と「譲り受けたいかた」の仲介を行った。

成立件数：6件

内容	件数	内容	件数
車いす	3件	ポータブルトイレ	1件
シルバーカー	1件	風呂用椅子(固定)	1件

(5) 地域福祉活動備品貸出事業

岡崎市内で地域福祉活動に携わるグループや団体の支援、また地域福祉活動の活性化を図ることを目的に、岡崎市内でサロン活動などを行うグループや団体を対象として、レクリエーション用品やパソコン、プロジェクターの貸出を行った。

区分		本部	額田支所	合計
利用件数	レク用品	22 件	7 件	29 件
利用団体	学区福祉委員会	4 件	3 件	7 件
	ボランティアセンター登録団体	1 件	0 件	1 件
	企業・施設	4 件	2 件	6 件
	老人クラブ	13 件	2 件	15 件
	その他(個人)	0 件	0 件	0 件

※本部は岡崎市社会福祉センターを指す

16. 善意銀行業務

社会福祉事業に理解のある多くの市民や団体などからの善意による金銭、物品の預託を受入れ、不慮の災害や貸付を必要とする方々に預託された善意を取り次いだ。

区分	預託		払出	
金銭預託	前年度繰越金	11,509,074 円	給付費支出	5,869,692 円
	寄附金収入	5,737,292 円	その他事業支出	303,997 円
	その他の収入	414 円		
	収入計	17,246,780 円	支出計	6,173,689 円
			収支差引残高	11,073,091 円
物品預託	食品(缶詰、お菓子など)		21 件	
	食品(玄米、白米)		10 件	
	衣類(シャツ、下着など)		4 件	
	生活用品(歯ブラシ、石鹸など)		5 件	
	生理用品(紙おむつなど)		5 件	
	寝具(布団、布団カバーなど)		1 件	
	プロレスチケット 30 枚		1 件	
	水なしボディウォッシュ 624 本		1 件	

17. 地域包括支援センター事業(基幹型含む)

地域住民の保健・福祉・医療の向上、高齢者の虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行った。

(1) 対象者

ア. 地域型 愛宕学区に在住の 65 歳以上の高齢者及び 64 歳以下の介護保険の被保険者及びその家族

イ. 基幹型 市内の地域包括支援センター

(2) 相談者数

ア. 地域型

単位：件

区分	件数	区分	件数	区分	件数
本人	511	家族	325	民生委員	37
ケアマネ	612	介護事業者	225	地域	20
公的機関	107	医療	67	その他	48
				合計	1,952

イ. 基幹型

単位：件

包括等	件数	包括等	件数	包括等	件数
中央	67	ひな	279	竜美	143
真福	406	社協	28	スクエア	155
さくらの里	311	なのはな苑	190	高年者	63
ふじ	126	さくら	163	やはぎ苑	1
北部	40	はしめ	181	南部	42
西部	62	東部	391	額田	12
むつみ	58	岡崎東	5	その他	13
				合計	2,736

(3) 相談内容

ア. 地域型

単位：件

内容	件数	内容	件数
介護保険	1,753	介護予防	2
認知症	15	在宅福祉	2
苦情	3	若年	0
生活保護	0	消費生活	11
未返信	12	障がい福祉	7
生活支援	12	住まい	39
医療に関すること	29	業務外	0
虐待	27	家族課題	38
成年後見・自立支援事業	9	その他	75
		合計	2,034

イ. 基幹型

単位：件

内容	件数	内容	件数
虐待	1,108	その他	18
困難ケース	1,610	合計	2,736

ウ. 基幹型上記内容内訳

単位：件

内容	件数	内容	件数
個別支援相談	1,764	医療機関連携	47
地域ケア会議	13	個別ケア会議	104
日常生活自立支援事業	6	成年後見申立支援	31
多職種連携	112	同行訪問	85
市との連携	480	その他	93
ネットワーク会議	1	合計	2,736

(4) 業務内容

ア. 地域型

- (ア) 総合相談支援(地域の実態把握・地域のネットワークの構築)
- (イ) 権利擁護(成年後見制度活用支援・高齢者虐待への対応・消費者被害防止啓発)
- (ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント(地域包括ケア推進・介護支援専門員支援・困難事例への対応)
- (エ) 介護予防ケアマネジメント(総合事業対象者の介護予防支援ケアマネジメント)
- (オ) 介護予防支援(要支援者の介護予防支援)
- (カ) 生活についてのチェックリスト未返信者支援
- (キ) 周知活動(広報紙を作り、チェックリスト未返信者宅、医療機関・地区民生委員児童委員協議会、老壮クラブ・学区福祉委員会などに配布及び回覧)
- (ク) 地域ケア会議開催
- (ケ) 出前講座・高齢者を支える家族の会開催
- (コ) ケアマネ交流会開催
- (サ) 認知症カフェ後方支援

イ. 基幹型

- (ア) 虐待・困難事例の支援
- (イ) 個別事例の支援をめぐるネットワーク構築支援
- (ウ) 地域包括ケアシステム構築の支援
- (エ) 人材育成の支援
- (オ) 岡崎市介護サービス事業者連絡協議会の運営
- (カ) 生活支援コーディネーター(1層)及びCSW

内容	件数	内容	件数
打合せ	88件	会議	58件
情報(収集・発信)	161件	連絡調整	406件
研修	22件	活動	154件
その他	1件	合計	890件

(キ) 地域支援者交流会開催

地域支援の視点や手法についての新たな発見や再確認をすること、地域支援の実践者同士の顔のみえる関係、気軽の相談できる関係づくりを目的に開催。

日時：令和5年2月24日(金) 午前10時～正午

内容：実践報告、グループワーク

対象：生活支援コーディネーター(地域包括支援センター)、

特定非営利活動法人岡崎まち育てセンターりた、

包括化推進員(ふくし相談課)、社会福祉協議会職員 計40名参加



## 18. 成年後見支援センター事業

認知症や知的障がい・精神障がいなどの理由で判断能力が十分でないかたが地域で安心して生活ができるよう成年後見制度の適正な利用促進のための相談・支援及び普及啓発と、法人後見受任事業を実施している。

### (1) 主なサービス内容

相談員による相談援助、家庭裁判所への申立て手続き支援、普及啓発、法人後見受任事業を実施している。

### (2) 成年後見相談者数

#### 相談支援

区分	件数
新規相談	248 件
継続相談	3,463 件

#### 法人後見

区分	件数
新規受任	4 件
受任対象対応件数	2,046 件

### (3) 相談対象者（成年後見支援センター）

区分	件数	区分	件数
認知症高齢者	1,649 件	身体障がい者	21 件
認知症以外要介護高齢者	466 件	高次脳機能障がい者	34 件
要支援・要介護以外高齢者	87 件	健全者	21 件
知的障がい者	473 件	その他	43 件
精神障がい者	917 件	合計	3,711 件

#### 相談対象者（法人後見）

##### ア. 類型（後見）

区分	件数
認知症	612 件
精神障がい者	0 件
知的障がい者	384 件
高次脳機能障がい者	0 件
合計	996 件

##### イ. 類型（保佐）

区分	件数
認知症	101 件
精神障がい者	0 件
知的障がい者	129 件
高次脳機能障がい者	0 件
合計	230 件

##### ウ. 類型（補助）

区分	件数
認知症	110 件
精神障がい者	714 件
知的障がい者	0 件
高次脳機能障がい者	0 件
合計	824 件

(4) 相談内容 単位：件

区分	件数	区分	件数
成年後見制度概要	994 件	家庭裁判所への申立て手続き	1,310 件
判断能力・診断書・鑑定書	8 件	身上監護に関する事	13 件
財産管理に関する事	257 件	虐待・権利侵害	3 件
債務・浪費	8 件	消費者被害	0 件
市長申立て関係	504 件	相続・遺産分割協議	2 件
任意後見	33 件	法人後見に関する事	16 件
身元保証に関する事	5 件	後見人等の業務に関する事	457 件
その他	101 件	合計	3,711 件

## (5) 支援内容（成年後見支援センター）

区分	件数
成年後見制度説明	440 件
資源情報(成年後見人の候補者等)の提供	8 件
専門職(弁護士・司法書士・社会福祉士)との調整	5 件
家庭裁判所への申立て手続き支援	575 件
成年後見人等の助言	1 件
関係者会議、調整等への出席・同行等	343 件
連絡や調整に関する事(進捗確認、情報共有確認含む)	2,287 件
その他	52 件
合計	3,711 件

## (6) 支援内容（法人後見）

区分	件数	区分	件数
金銭管理・金融機関手続き	393 件	福祉サービス利用・契約手続き	31 件
住居に関する手続き	15 件	行政手続き	47 件
入院・医療に関する手続き	52 件	家庭裁判所への手続き	42 件
登記に関する手続き	21 件	モニタリング	13 件
本人との連絡調整	476 件	関係者との連絡調整	723 件
関係者会議への出席	66 件	死後事務	109 件
その他	62 件	合計	2,050 件

## (7) 法人後見受任件数

類型	受任件数
後見	5 件
保佐	2 件
補助	2 件
合計	9 件

## (8) 普及啓発及び研修会の開催

## ア. 広報

社協だより(9月、3月掲載)

市政だより(10月掲載)

民生委員児童委員協議会(4、9、10月)へ成年後見支援センターちらし等配布

岡崎市支所へ(8月)パンフレット配布(全7箇所)  
碧海信用金庫(市内12支店)パンフレット配布(6月)  
西尾信用金庫(市内10支店)パンフレット配布(6月)  
ゆうちょ(市内39支店)パンフレット配布(7月)

イ. 各種団体への普及啓発

出前講座：5回(岡崎市介護サービス事業者連絡協議会ケアマネ部会、市民病院、  
奥殿学区、生活介護事業所部会、愛知県肢体不自由児・者父母  
の会)

周知活動：3回(相談者支援事業所部会)

ウ. 成年後見制度市民講演会

日 時：令和4年10月22日(土) 午後1時30分～4時30分

会 場：せきれいホール

テーマ：映画シンポジウム 「認知症と権利擁護」

第1部：映画上映「長いお別れ」

第2部：振り返りトーク「認知症と権利擁護」

参加者：165名

エ. 関係者対象権利擁護勉強会

(ア) 第1回

日 時：令和4年6月28日(火) 午後1時30分～3時

テーマ：「虐待の基礎知識と成年後見制度」

講 師：弁護士 三宅 結花 氏

参加者：会場27名、オンライン84名 合計111名

(イ) 第2回

日 時：令和5年1月31日(火) 午後1時30分～3時

テーマ：「高齢者及び障がい者の事例を通して権利擁護を学ぶ」

・職員による不適切ケアとスピーチロックへの対応を考える

・在宅での支援を通じた成年後見制度の活用を考える

講 師：社会福祉士 塚本 鋭裕 氏

参加者：会場23名、オンライン55名 合計78名

オ. 専門職相談会の開催

弁護士会 (毎月第1木曜日) 年間10回開催 相談件数22件

司法書士会(隔月第3金曜日) 年間3回開催 相談件数3件

(6) 岡崎市成年後見制度利用促進協議会への参加

第1回 令和4年8月2日(火)

(7) 受任調整会議(奇数月 第3水曜日) 5回開催 検討ケース計24件

令和4年 5月18日(水) 検討ケース7件

令和4年 7月20日(水) 検討ケース6件

令和4年 9月21日(水) 検討ケース5件

令和4年 11月16日(水) 検討ケース2件

令和5年 1月18日(水) 検討ケース4件

令和5年 3月15日(水) 検討ケースが無かったため中止

## 19. 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者のうち判断能力が不十分なかが、地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助などを行った。

### (1) 主なサービス内容

福祉のサービス利用援助、日常的な金銭の管理、日常生活の事務手続きの支援、重要な書類などの預かり

### (2) 実利用者数

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合計
利用者数	17名	17名	11名	45名

### (3) 相談援助件数(問合せ・相談援助件数)

事項	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合計
初回相談(受付)	20件	8件	10件	38件
相談援助(上記以外)	1,349件	1,084件	723件	3,156件
合計	1,369件	1,092件	733件	3,194件

### (4) 終了者数

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合計
死亡	4名	0名	1名	5名
移行	1名	0名	0名	1名
その他	0名	3名	1名	4名
合計	5名	3名	2名	10名

### (5) その他

関係機関などへの啓発(出前講座開催)

## 20. 障がい者相談支援事業

障がい児・者やその家族からの相談を受け、必要な情報提供や各種関係機関の紹介、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活力を高めるための支援などを総合的に行うことにより、自立と社会参加の促進を図った。

### (1) 対象者

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、難病、障がい児やその家族

### (2) 対象者内訳

対象	実人数
身体障がい	76名
知的障がい	162名
精神障がい	282名
重症心身障がい	7名
その他	29名
合計	556名

(3) 支援方法

支援方法	件数
訪問	1,179 件
来所相談	164 件
電話等相談	2,008 件
その他	111 件
合計	3,462 件

(4) 支援内容

内容	件数	内容	件数
福祉サービス利用	2,927 件	家計・経済	128 件
障がいの理解	127 件	生活技術	1,667 件
健康・医療	692 件	就労	207 件
不安解消・情緒安定	1,498 件	社会参加	12 件
保育・教育	52 件	権利擁護	18 件
家族・人間関係	326 件	その他	823 件
		合計	8,477 件

(5) 啓発・広報

市政だより「おかざき」、社協だより「おかざきの社協」、社協ホームページ

(6) 障がい支援区分認定調査 調査実績 45 件

(7) 岡崎市障がい者自立支援協議会就労支援専門部会の運営(事務局) 年 4 回

21. 岡崎市障がい者基幹相談支援センター(岡崎市障がい者虐待防止センター)

地域の相談支援事業所や関係機関が抱えている困難ケースなどの相談を受け、各種障がい種別やニーズに応じた専門的な相談支援ができるよう指導・助言や関係者会議などを行った。

その他、障がい者自立支援協議会各専門部会並びに岡崎市障がい福祉サービス事業者等連絡会の事務局運営、相談支援事業所の資質向上を図るための事例検討会や研修会を開催した。

障がい者虐待防止センターでは、障がい者虐待に関する相談窓口として 24 時間対応を行い、常に市と連携し情報共有しながら事実確認のための調査訪問や支援計画の検討会議などを開催した。

また、虐待防止や権利擁護意識の向上を図るため、「障がい者の権利擁護啓発パンフレット『みんながいっしょに暮らせるまちへ』」の増刷と配布、「事業所向け権利擁護講演会」として、成年後見支援センターと共同しての研修会(2 回)の実施、各事業所からの依頼による「権利擁護」に関する研修を実施した。

(1) 総合的・専門的な相談支援の実施

ア. 困難事例相談対応 年間件数 1,672 件(前年度:1,419 件)

イ. 説明会等相談員派遣

愛知県立みあい特別支援学校 PTA 総会:令和 4 年 12 月 16 日

(2) 地域の相談支援体制の強化

ア. 相談支援事業所訪問

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、事業所訪問を控えた。

※困難ケース対応等、個別に各事業所との協働での対応は実施。

地域の相談支援事業所からの相談件数

単位：名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
委託相談	62 (23)	58 (15)	65 (19)	61 (26)	54 (21)	29 (18)	23 (20)
指定特定	12 (8)	13 (9)	14 (10)	20 (12)	14 (9)	22 (11)	30 (9)
月	11月	12月	1月	2月	3月	/	合計
委託相談	13 (10)	38 (22)	37 (17)	36 (20)	52 (18)		528 (66)
指定特定	18 (6)	6 (5)	10 (9)	21 (16)	24 (12)		204 (30)

※ 延べ人数(実人員)

- イ. 委託相談支援事業所連絡会議 年間 12 回
- ウ. 関係機関会議への出席 年間 5 回
- エ. 個別支援会議への出席 年間 84 回
- オ. 障がい福祉サービス等事業者連絡会の開催

部会名	開催数	部会名	開催数
相談支援事業所部会	5 回	就労系事業所部会	3 回
生活介護事業所部会	4 回	居宅介護事業所部会	4 回
施設系事業所部会	4 回	児童通所支援事業所部会	4 回

- カ. 相談支援従事者養成研修への協力

(ア) 演習講師派遣

現任研修(3日間)令和4年7月15日(金)・8月17日(水)・9月16日(金)  
 主任研修(4日間)令和5年1月17日(火)・1月18日(水)・1月23日(月)  
 1月24日(火)

(イ) インターバル研修の受入れ

初任研修：受講者 11 名の受入れ(各人 1 回)  
 現任研修：受講者 9 名の受入れ(各人 2 回)

- キ. 研修会の開催

基幹センター主催研修(1) 開催日：令和4年7月26日(火) テーマ：「高次脳機能障がいのある人の支援について ～こんな時どうする？ 一緒に考えよう地域でのサポート体制」
基幹センター主催研修(2) 開催日：令和4年9月29日(火) テーマ「こども発達支援センターの仕組みと地域の相談支援に繋がる支援について」
相談支援従事者初任研修受講者フォローアップ研修 開催日：令和4年10月28日(金) 参加者：9名(初任研修受講者)

ク. 岡崎市障がい者自立支援協議会の運営

部会名	開催数
自立支援協議会	5回
(1)個別支援専門部会	6回
(2)地域移行支援専門部会	4回
(3)就労支援専門部会	4回
(4)こども発達支援専門部会	4回
(5)医療的ケア児支援専門部会	3回
(6)権利擁護支援専門部会	4回
(7)障がい者基本計画等推進専門部会	3回

※(1)~(5)については、市内の指定一般相談支援事業所が事務局を担い開催。

※(6)については、基幹相談支援センターが事務局を担い開催。

※(7)は岡崎市障がい福祉課が事務局を担い開催。

※対面型に加え、書面開催やオンライン開催などにより会議を実施。

(3) 地域移行・地域定着の促進

地域移行支援専門部会に対して、「地域課題の見える化」をすることを提案。

第4回地域移行支援専門部会にて模造紙を活用し、地域課題の見える化を検討する。

(4) 権利擁護・虐待の防止

ア. 虐待案件対応 年間 246 件(延べ件数)(前年度：133 件)

イ. 虐待防止ネットワーク会議への参加6回

ウ. 権利擁護講演会等の実施

(ア) 市民向け権利擁護普及パンフレット「みんなが一緒に暮らせるまちへ」を配布

配布先等：福祉実践教室、地域の会議等

総配布数：1,576 部

(イ) 事業所向け権利擁護講演会の実施

日時	研修内容等	参加者
令和4年 6月28日(火)	第1回関係者対象権利擁護勉強会 ○岡崎市の虐待の状況 発表：岡崎市福祉部 長寿課地域支援係 係長 勝田 修一氏 ○基調講演「虐待の知識と成年後見」 講師：弁護士 三宅 結花 氏 ※ 成年後見センターとの合同企画研修	会場 28人 オンライン 91人
令和5年 1月24日(火)	第2回関係者対象権利擁護勉強会 ○講演：高齢者及び障がい者の事例を通して 権利擁護を学ぶ 講師：社会福祉法人仁至会 障害者福祉施設サンサン大府 施設長(常務理事) 日本福祉大学・人間環境大学 非常勤講師 塚本 鋭裕 氏 ※ 成年後見センターとの合同企画研修	会場 27人 オンライン 57人

エ. 研修会などの開催(講師派遣)

(ア) Kit 株式会社グローアップ：令和4年7月13日(水)

(イ) 社会福祉法人愛知県厚生事業団愛厚藤川の里

令和4年8月25日(木)、9月7日(水)、9月27日(火)(計3回実施)

- (ウ) 社会福祉法人愛恵協会 令和4年9月22日(木)
- (エ) 株式会社どんぐりの木放課後等児童デイサービスどんぐりの木  
令和4年12月2日(金)
- (オ) 株式会社サンエスさん・すまいる・サポート&株式会社アライブイノベーション東岡ワークス 令和5年3月28日(火)

(5) 相談業務の実績

支援内容	訪問・面談等	電話	会議	関係機関	合計
困難事例	284件	386件	84件	918件	1,672件
地域移行・地域定着	14件	17件	5件	40件	76件
虐待	110件	29件	19件	88件	246件
成年後見制度	5件	10件	10件	48件	73件
その他	0件	0件	0件	0件	0件
合計	413件	442件	118件	1,094件	2,067件

22. 住宅リフォーム事業

高齢者、障がい者などの自宅を訪問し、住宅改修に関する技術的助言、建築士による意見書の作成などを実施した。

意見書の作成件数：2,175件

相談件数		訪問	面接	相談	合計
高齢者	利用者	204件	0件	2件	206件
	関係機関	0件	172件	304件	476件
	合計	204件	172件	306件	682件
障がい者	利用者	9件	1件	9件	19件
	関係機関	0件	2件	10件	12件
	合計	9件	3件	19件	31件

23. 緊急生活資金の貸付業務

市内に居住する、生活保護世帯及び決定を受けた世帯に対し、緊急かつ一時的に必要なとする生活資金の貸付及び住宅借入のための資金などの貸付を行い、生活の安定に努めた。

区分	貸付の状況		償還の状況	
生活資金	0件	0円	0件	0円
住宅借入	42件	8,448,060円	41件	8,419,860円

24. 暮らし資金の貸付業務

低所得世帯において、不測の出費が生じ、日々の生活を圧迫するような事態が起きたときに融資を行うための事業である。

貸付の状況		償還の状況	
0件	0円	0件	0円



## 25. 生活福祉資金(総合支援資金)の貸付業務

低所得世帯を対象にその自立又は、経済面の立て直しの足がかりとして、自立更生の促進に資するように努め、資金の趣旨に基づいてその活用を図った。一部の資金の貸付け及び償還にあたっては、当該世帯の区域を担当する民生委員児童委員の適切な指導と協力により行われた。

令和元年度末から始まった、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時特例貸付も引き続き実施し、コロナ禍において収入が減少してしまった世帯に対する貸付を令和4年9月末まで行った。(下記、(1)、(2)ともに令和4年度貸付実績額)

### (1) 本則貸付(令和4年度貸付実績額)

貸付項目	決定件数	決定額
総合支援資金	0件	0円
福祉費	2件	199,000円
教育支援資金	7件	7,033,000円
不動産担保型生活資金	1件	6,062,000円
緊急小口資金	12件	1,149,000円
合計	22件	14,443,000円

### (2) 特例貸付(小口・総合支援、令和4年度貸付実績額)

貸付項目	決定件数	決定額
小口資金	331件	64,690,000円
総合支援資金	253件	130,040,000円
合計	584件	194,730,000円

## 26. 介護保険法による介護サービス事業

居宅介護支援(ケアマネジャー)事業では、要介護認定のかたを始め、困難ケースの受け入れや、緊急時における24時間対応など、利用者のサービス向上に努めた。

訪問介護事業においても、ホームヘルパーの技術向上を毎月行うことで、より質の高いサービスの提供やケアサービスの適切な提供に努めた。

### (1) 居宅介護支援事業の状況(プラン作成状況など)

区分	件数
ケアプラン	2,414件
予防ケアプラン	739件
要介護認定調査件数	164件

### (2) 訪問介護事業(介護保険)の状況

部門	訪問件数	訪問回数
本部	860件	7,409回
額田支所	588件	3,169回
合計	1,448件	10,573回

## 27. 障害者総合支援法による障がい福祉サービス事業

障がいの特性を理解し、相手の気持ちを尊重しながら自立に向けて援助するとともに、地域で安心して暮らしていけるように関係機関と連絡を密にとり、ケアサービスを実施した。

### (1) 訪問介護事業(障がい)の状況

部 門	訪問件数	訪問回数
本 部	920 件	5,454 回
額田支所	72 件	564 回
合 計	992 件	6,018 回

### (2) 地域生活支援事業の状況

部 門	訪問件数	訪問回数
本 部	144 件	390 回
額田支所	24 件	32 回
合 計	168 件	422 回

### (3) 研修・啓発事業

訪問介護職員への研修を計画し、年間 12 回の研修を実施し、資質・技術の向上に努めた。岡崎ホームニュースに『となりのヘルパーさん』としてヘルパーになったきっかけや介護に対する思いを全 9 回のシリーズで掲載し、訪問介護のやりがいや楽しさを発信した。

## 28. 在宅訪問介護事業(養育等支援)のヘルパー派遣状況

### (1) 養育支援事業

養育支援事業は、子育てに困難を抱えている家庭を訪問し、児童の養育に係る支援を行い虐待防止に努めた。また、各種の福祉課題を抱える世帯への訪問となることから、常に岡崎市担当課との連携を密にし、情報を共有し慎重な訪問に留意した。

訪問件数	訪問回数
28 件	99 回

### (2) 産前産後ホームヘルプサービス事業

産前産後ホームヘルプサービス事業は、出産前後の母親の心身の健康を維持するとともに、児童及びその家庭の生活の質(QOL)の向上に努めた。

訪問件数	訪問回数
54 件	294 件

## 29. 指定管理制度の受託

### (1) 生きがい活動支援通所事業「ふれあいデイサービス」

(岡崎市ふれあいデイサービスセンター)

ア. 65 歳以上で介護保険申請前のひとり暮らし高齢者、日中独居高齢者などを対象に、社会的孤立感の解消や心身機能の維持及び向上を目的とした指定管理事業「通所型デイサービス事業」を実施した。

	開所日数	延利用者数
年間実績	242 日	1,660 名

イ. ふれあいデイサービス利用者向けにデイサービスに通所した際、その場で簡易な買い物ができる機会として、稲葉屋(桜形町)と連携し買い物コーナーを設けた。

	利用者数	買物金額
年間実績	444 名	392,437 円

(2) 岡崎市社会福祉センター

岡崎市社会福祉センターの指定管理者として、館内活動室の貸し出し、会館管理業務を令和3年度より受託した。活動室は、ボランティアセンター登録団体や障がい者団体のほか、一般企業・団体等にも貸し出し(一部有料)を行った。また、1階にボランティアセンターを福祉会館から移設し、福祉ボランティアの活動拠点として情報提供・活動のコーディネートなどを行った。

ア. 利用団体数(累計)

単位：団体

	1階				2階		計
	第1	第2A	第2B	第3	多目的A	多目的B	
減免	377	274	183	202	211	201	1,448
有料	97	117	142	90	97	76	619
計	474	391	325	292	308	277	2,067

※表中省略文字は、減免：利用料減免者、有料：有料利用者、第1：第1活動室、第2A：第2活動室A、第2B：第2活動室B、第3：第3活動室、多目的A：多目的室A、多目的B：多目的室Bとなります。

イ. センター運営に必要な訓練など

避難訓練

第1回 令和4年6月27日(月)

第2回 令和5年3月8日(水)

ウ. 地域活動協力

五本松町内会防災訓練 令和4年10月16日(日)

エ. オカザえもとみんなで創作活動

(ア) 創作活動

開催日：令和4年11月27日(日)

会場：岡崎市社会福祉センター 2階 多目的室

内容：オカザえもと子どもたちの共同創作活動

(イ) 作品展示

期間：令和4年12月9日(土)～令和5年1月30日(月)

会場：岡崎市社会福祉センター 1階～3階通路

オ. アール・ブリュット展(障がい者アート展示)

期間：令和5年2月23日(木)～3月27日(日)

会場：岡崎市社会福祉センター 2階通路